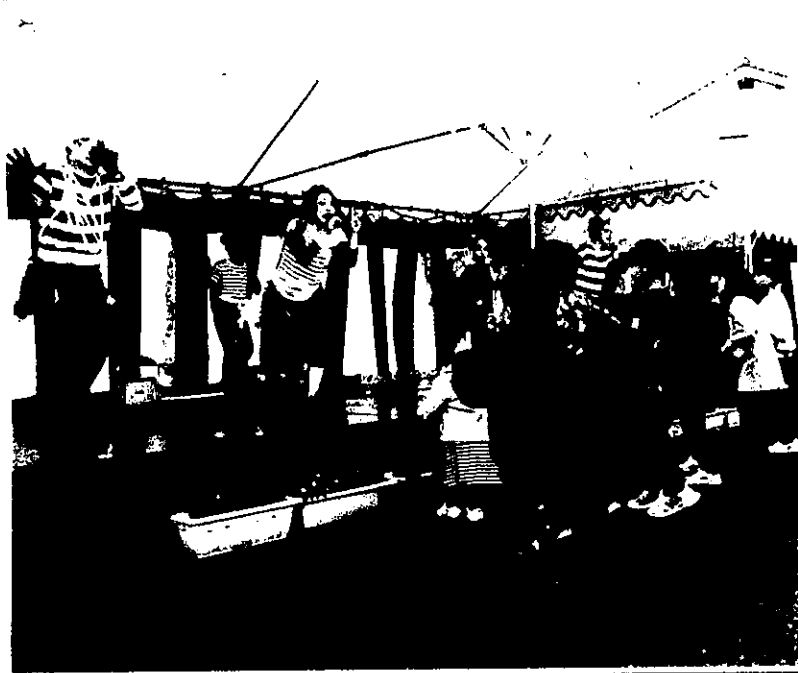


たより

第40回川合町文化祭

11月11日(土) 12日(日)の両日、川合まちづくりセンターで『第40回川合町文化祭』を開催しました。今年も、『第40回』という節目の文化祭です。ここ数年は、コロナ禍で文化展のみ開催していましたが、今年も文化展とイベントを復活して開催しました。また、文化展第2会場として、吉永下自治会館にも作品を展示しました。



◇文化展◇

文化展は、11日と12日の両日行ないました。川合保育園園児・川合小学校児童の作品を始めとして、大田第一中学校生徒や川合町内の皆さんと各サークルや町内の各福祉施設の入居者及び利用者の皆さん方の、書・絵画・手芸・工芸作品及び写真等を展示しました。来場の皆さんも熱心に見入っていました。今年の特別展は、『川合小学校150周年』ということで、校札や棟札或いは懐かしい全景写真、教科書等々を選んで展示し、卒業した皆さんも感慨深く見入っていました。何れの展示作品も、若干少なかつたですが心を込めた作品で年に一度の目の保養になりました。

◇イベント◇

12日のイベントは4年ぶりの開催で、朝からの雨でも午前9時30分3発の打上花火を合図に幕開けしました。来場者の出足も雨のため、テント内の席も空席が目立ちました。しかし、恒例のバザーも打ち上げ花火を合図に販売開始で、J.A.女性部・川合小学校PTA・リバーズ・ケアハウスピラおおだ・清風園・若者会の各コーナーは行列ができて賑わいました。その他に、茸類の即売やナシ・ジュース・缶ビール等の販売もありました。設営された特設ステージでは、児童クラブの歌で始まり、幹舞・Sの踊り・久しぶりの風花・ミニコンサート、川合町初めての大江山神楽等が行われました。雨のため、あゆみ太鼓は中止となりました。(このため、終了時間が早まりました) 体協コーナーでは、自分の体調を知る健康チェックコーナーや軽スポーツゲーム等も行なわれ賑やかでした。川合分団も、川合町内の防火パレードを行い、年末に向けて「火災予防」を呼びかけました。今年も、川合町の無火災を願います。

今年に残念ながら、気候の影響で農産物が不作で品評会は泣く泣く中止としました。(来年は、気候も安定して立派に育つことを期待します)

各団体の表彰式では、それぞれの団体ごとに入賞者の表彰等が行なわれました。入賞された皆さんは、賞を手にして笑顔一杯でした。

恒例のビンゴゲームは、午前の部と午後の部の2回に分けて行ないました。進行上手な2名の司会者によって、読み上げる数字が進むにつれてリーチの人やビンゴになった人が我先に殺到して、豪華景品が早々となくなりました。(200個の賞には、数千円の豪華な賞が多くありました) 毎回のことですが、午後に行なうビンゴゲームは文化祭の締めとして行ないますので、皆さんに文化祭終了を告げる暗黙の合図でもあります。用意した賞は、全てなくなり皆さんが手中にしました。

川合町文化祭開催に当たり、今年も快くテナト・机・イス・調理用具等々を貸して頂いた各自治会及び各事業所等には厚くお礼申し上げます。

また、事前の準備から当日の後片付けまでお手伝い頂いた皆さま、展示作品を出品された皆さま、川合町文化祭へのご協力ありがとうございました。多く出品をして頂くことが何よりです。

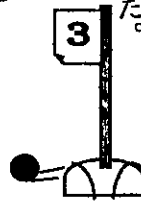
終了後の片付けも、自治会や各団体・大田一中生徒等の皆さんのご協力のおかげで、4年のプランクをものともせず素早く終わりました。午後4時50分、最後の片づけが終わりスタッフも解散しました。4年ぶり開催の第40回川合町文化祭も、「文化展」「イベント」と事故もなく無事に終えることができましたこと、文化祭実行委員会も一同喜んでおります。ありがとうございました。

川合町文化祭実行委員会
川合まちづくりセンター

川合町グランドゴルフ大会

第2回川合町グランドゴルフ大会を、10月28日(土)に川合小学校グランドで開催しました。参加者は21名で、和気あいあいの内にも個人プレーの闘志が垣間見えましました。当日は、雨の心配もありましたが、天候に恵まれて体調不良もケガもなく皆さん無事に競技を終えました。結果は、左記のとおりでした。

記



- 優勝 松田 淳 (吉永上)
- 準優勝 渡辺 岩雄 (神領一)
- 松本千鶴子 女性1位 (出岡)
- 3位 川村 克己 (吉永下)
- 松本 壽子 女性2位 (浅原)

敬称略

毎週月曜日と木曜日の、午後1時30分から川合まちづくりセンターの憩いの広場でグランドゴルフの練習をしています。皆さん、どうぞ誘い合っ

てご参加下さい。用具も貸し出します。



川合町民ソフトテニス大会

10月22日(日)、大田市民コートで、第34回川合町民ソフトテニス大会を開催しました。参加チームは9チームと少なかつたですが、澁淵とプレーをしていました。成績は次の通りです。

- 優勝 和田・和田組 (神領)
- 2位 坂田・坂田組 (市)
- 3位 和田・谷本組 (瓜坂)



かわいいみまもりたい

毎月15日の午後5時から6時に、青色防犯パトロール車で青灯を点灯して吉永下地区で啓発活動を行っています。11月から2月までは、冬時間対応として午後4時30分から5時30分までとします。この活動を通して、児童・生徒の安全安心な登下校と交通安全を見守ります。みまもりたい

お悔み

11月に亡くなられた方

- 南 杉本 義美 様
 - 市 原田 光明 様
- 謹んでお悔み申し上げます。

川合さわやかレディース (婦人学級)

10月26日(木)、川合まちづくりセンターにて、今年度第3回目となる「川合さわやかレディース」を開催しました。今回は、講師に幸増千世先生をお招きし、「カッティングボードを使った写真立て」を作りました。参加者は、出来上がった作品に、それぞれお気に入りの写真を入れ、とても素敵な写真立ての完成を大変よろこんでおられました。



川合分団「火の用心」



＊全国統一標語

『火を消して 不安を消して つながる未来』

『火の用心・その1』

『秋の全国火災予防運動』が、11月9日から15日まで行なわれました。期間中は、川合町においては火災の発生はありませんでした。これから先、一段と寒さ厳しい季節となります。皆さんの家庭でも、ストーブやこたつ等暖房器具の使用頻度が多くなりますので安全に使いましょう。

『火の用心・その2』



『火の用心』

今年も、川合町から火災を出さないように火災予防には十分注意して下さい。何時も言いますが、火災になると全てが灰になって何も残りません。予定として、今年も12月28日(木)・29日(金)・30日(土)の年末3日間は、恒例の年末警戒を行い団員が1班・2班・3班ともに出動して川合町内の「防火パトロール・火の用心」を呼びかけて川合町内を巡回します。

大田市消防団川合分団
川合町消防後援会

土のうづくり講習会

11月5日(日) 8時30分から、土のうづくり講習会を行いました。各地区自主防災会から約30名が出席して、消防団員を講師にして土のうを約200袋つくって川合まちづくりセンターに保管しました。ここところ、保管数量が減っていましたのでこれで以前の250袋になりました。必要なときは、遠慮なく使して下さい。

川合町自主防災会協議会

投稿欄

『あっちこっちいく隊 II』

あっちこっち その175

『ある研修会の1ページ(抜粋)』

「クレーム」とは、期待した水準のサービスが得られなかったときに、実質的な補償を求めると。要求は、エスカレートすると実質的な補償や賠償の要求につながる。 ↓ ↓ 欲望

『苦情』とは、サービスを受けて満たされないと期待した尊厳欲求など心理的な要求が満たされなかったときに発生する。不快な思いを、改善して欲しいという要求につながる。 ↓ ↓ 発散

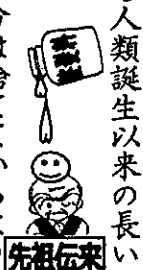
『質問・意見・要望』等は、捉え方でサービスの向上につながる。 ↓ ↓ 学ぶ

『時代劇や相撲を見ると年寄か』

何故か、「時代劇や相撲を見る」と言うとき「年寄」などと笑われる。野球やサッカー、ラクビー、或いはバスケットボールやバレーボール・ゴルフ等々を「見る」と言っても誰も「年寄」とは言いません。相撲は、垂仁天皇7年7月7日、野見宿禰と當麻蹶速がお互いに足で蹴りあいながら勝負をしたのが相撲の始まりです。日本古来のものなのに、「年寄」と言われることは何故か不可思議です。時代劇も同じと思いますが、「戦や斬り合い」は地球全土における人類誕生以来の長い歴史の紛れもない事実です。

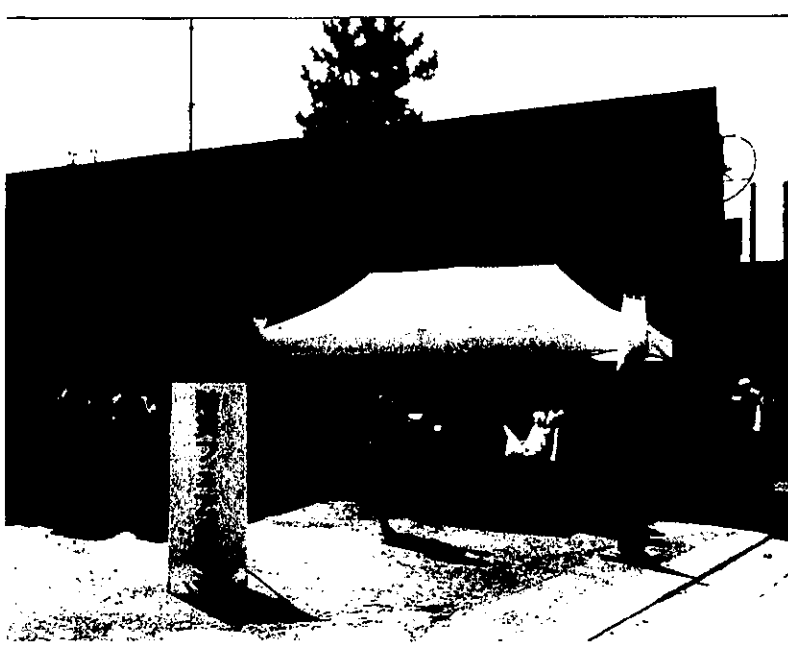
『整髪料』

整髪料を、毎朝使うのに半分は捨てているようで、ありがたいようでありがたくないような、先祖代々引き継ぐ折り紙(髪)付きの血統でしょうか。貴重? 似たような方、どうでしょう? 記事を探して「あっちこっちいく隊」



大田市防災フェア

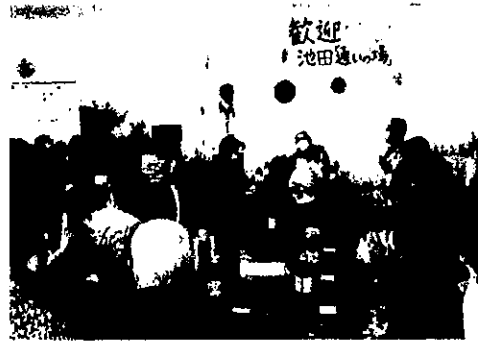
10月22日(日)『大田市防災フェア』が、大田市森林組合の『林業祭』と共催で大田市民会館と旧消防署前を会場として開催されました。開会式後、10時から午後3時まで防災関係及び林業用車両の展示、パネル展示・木材加工の体験、地震体験車・煙体験・防火衣姿のちびっ子消防士・水消火器放水、消防車・救急車にパトカー・白バイの展示と乗車体験。当日は、川合町自主防災会協議会も朝から参加して非常食の豚汁を200食つくりました。多くの人が来場して賑い、豚汁は美味しいと好評で2杯3杯食べた人もいました。



川合町自主防災会協議会

通いの場

11月2日(木)、池田「通いの場」との交流会を行いました。今年度、川合小学校と池田小学校が統合しましたが、「通いの場でも交流を深めたい」という利用者さんの願いが実現しました。



池田からは、17名の方が参加してくださいました。6グループに分かれてコップつりゲームを楽しんだ後、川合音頭の紹介。メインは矢田文さんのフルート演奏。皆さん、見事な演奏に聴き入っていました。参加された方は、「いろんな人と知り合いになれて嬉しかった」と話してくれました。

《12月の予定》

- ◇12月6日(水) 「通いの場」アンケート
- ◇12月13日(水) ミュージックケア
- ◇12月20日(水) 川合町独居老人の方との交流
- ◇12月27日(水) 歌と音楽鑑賞

【参加者募集】

通いの場では、新規の参加者を募集中です。いつでも元気に暮らせるよう、一緒に楽しく介護予防に取り組みしましょう。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子

(電話 82-5124)迄ご連絡ください。

川合地域ささえあい協議会

伝承します川合の文化財

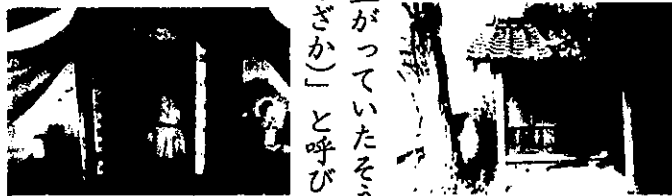
川合町文化財めぐり⑭

坂根幸夫

向吉永の薬師堂

向吉永の山下建築工房横から近年改修された幅4mの道を200m程上ると、右手の畑の奥に立派なお堂があります。これが薬師堂です。

薬師堂について田中円而さんにお話を伺いました。今は祭典を行っていないそうですが、20年くらい前までは行っていて、賑やかなときもあったそうです。昔は山下邦夫さん宅横の坂を上がっていたそうです。この坂を「狼坂(おおかみざか)」と呼び、今もその由来が昔話として伝わっています。



薬師堂の中には石像2体と木像2体が安置されています。堂内にある一番古い棟札には、明治41年10月新築、願主田中トヨ、世話人田中藤太郎、大工和田九二郎、木挽田中藤太郎、建功十四世宮本珍牛代、寄進として30名の方の名前が記されています。

次の棟札には、昭和39年9月3日改築供養、改築施主田中徳三郎、世話人田中円義・田中瀬造・山下 榮・山下近男、大工山下 甫、浄光廿三世法圓龍童叟、寄進として蕃田中圓義、三角打敷山本宗次郎・田中徳一郎、他28名の方の名前が記されています。3枚目の棟札には、平成4年2月26日屋根瓦替え、堂守大浜 明、大工杉山 貢・下広俊幸・深谷、寄進として5名の方の名前が記されています。

昭和46年発行の『石東史叢10号』に松井範政さんが「安濃郡吉永村上組史跡調」

を書かれています。そこには、薬師堂 但し往古より有之 当時大田南町中村為二郎持山の内に有之候 桁四尺五寸 梁四尺四寸 高さ五尺五寸と載っています。



このほか、この地から旧試験場に抜けていくと、「薬師の水」と呼ばれていた清水があったとお聞きしました。お堂の横に石碑がありますが、風化して文字が分からなくなっていて残念です。棟札を見ると、向吉永の皆さんが薬師堂を大切にしてこられたのが分かります。今も中はきれいに手入れがされています。(敬称略)

福祉委員研修会

11月6日(月)、川合まちづくりセンターで福祉委員研修会を開催しました。講師に市役所保健師の宇谷鈴さんを招いて『冬の健康について』お話し頂きました。続いて大田市社協の大迫真佐彦氏に『赤い羽根の共同募金について』お話し頂きました。1947年に助け合い運動として発足し当時6億円が集まったそうです。現在の貨幣価値でいうと1200億円に相当するそうです。改めて日本人の助け合いの心を感じました。

